

1.3 調査内容

各基幹設備の更新前後での省エネルギー効果等を算定する。但し、更新前後において、容量等は変化しないものと仮定し算定を行う。

また、省エネルギー効果等の算出、推計を行う調査内容項目を下記に示す。

- ①各基幹設備の標準的な仕様、エネルギー消費量について
 - ・既存の基幹設備の標準的な仕様、エネルギー消費量
 - ・更新後の標準的な仕様、エネルギー消費量（平成 23 年現在）
 - ・更新後のより効率的な仕様（トップランナー等）、エネルギー消費量（平成 23 年現在）
- ②各基幹設備の更新によって得られる環境負荷低減効果について
 - ・各基幹設備の更新によって得られる環境負荷低減効果（省エネルギー効果等）の算定
- ③今後 5 年間の省エネルギー効果について
 - ・平成 23 年度から 5 年間に基幹設備の更新によって得られる国立大学法人等全体の省エネルギー効果の推計
- ④1 事業当たりの省エネルギー効果の算定方法について
 - ・基幹設備ごとに、代表的な規格における更新事業をそれぞれ 1 事業仮定し標準的な仕様及びより効率的な仕様（トップランナー等）に更新する場合の省エネルギー効果を算定
 - ・上記の算定方法をそれぞれ整理
- ⑤その他、上記調査の実施に当たって必要となる事項